

第4期 農地利用最適化推進委員応募・推薦名簿

石農委公示第8号

石垣市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者推薦及び応募の状況について

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第19条第2項及び同法施行規則（昭和26年農林水産省令第23号）第12条第1項の規定により、次のとおり公表する。

令和8年7月31日

農業委員長 砂川 拓也

個人による推薦 1人								
No.	被推薦者						推薦者	
	推薦・応募	氏名	性別	年齢	職業	備考	氏名	推薦の理由
1	推薦	米盛 英彦	男	46	会社員	営農年数：18年 年間従事日数：200日 経営耕作地面積：70,000㎡ 主要作物：さとうきび	①嘉良 直人 ②世持 努 ③米盛 充紀	農業の持続的な発展と石垣市の農業振興に寄与し、幅広く農家からの相談に応じてくれることを確信し、推薦する。

第4期 農地利用最適化推進委員応募・推薦名簿
石垣市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者推薦及び応募の状況について

石農委公示第8号

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第19条第2項及び同法施行規則（昭和26年農林水産省令第23号）第12条第1項の規定により、次のとおり公表する。

令和8年7月31日

農業委員長 砂川 拓也

法人又は団体による推薦 1人

No.	被推薦者						推薦者	
	推薦・応募	氏名	性別	年齢	職業	備考	氏名	推薦の理由
1	推薦	川平 英幸	男	39	兼業農家	営農年数：9年 年間従事日数：200日 営農状況：8a	真栄里公民館	1. 地域農業や農家情報に精通している。 2. 公民館活動を通し、他役職関係者との交流が多く、まとめ役として活躍してる。 3. 令和5年から最適化推進委員として一期就任

第4期 農地利用最適化推進委員応募・推薦名簿
石垣市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者推薦及び応募の状況について

石農委公示第8号

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第19条第2項及び同法施行規則（昭和26年農林水産省令第23号）第12条第1項の規定により、次のとおり公表する。

令和8年7月31日

農業委員長 砂川 拓也

一般応募者 24人

No.	推薦・応募	氏名	性別	年齢	職業	備考	応募の理由
1	応募	池原 吉剋	男	75	農業	さとうきび 6ha 農業従事日数300日 現職農業委員	私は石垣市において約五十年にわたり、さとうきび栽培に従事し、地域の気候・土壌の特性を踏まえた農地管理と安定的な営農に努めてまいりました。 また、これまで農業委員としての職務を経験し、農地の適正利用に関する審査、相談対応、地域の課題把握等に携わってまいりました。現場の実情を踏まえつつ、公平・中立の立場を堅持し、地域農業の健全な発展に寄与してきたものと自負しております。 さらに、多面的機能支払活動においては地区代表として、農道・水路の維持管理、共同作業の調整等を担い、地域農地の保全に主体的に取り組んでおります。加えて、石垣島土地改良区の理事を四十年間務め、農業基盤整備や水利管理に深く関わってきたことで、地域農業の現状と課題に精通しております。 これらの経験を通じて培った知識と実務能力を生かし、今後も農業委員として農地の適正利用の推進、地域農業の振興、そして次世代への継承に尽力する所存です。 地域の声に真摯に耳を傾け、石垣市農業の未来に貢献できるよう誠実に職務を遂行してまいります。
2	応募	岡村 康	男	57	農業	営農年数：7年（研修期間含む） 島らっきょう他 35a さとうきび 39a 農業従事日数300日 現職農業委員	農業委員として1期目を務める中で、「石垣市島らっきょうの会」の設立や新規就農者の支援や知人や地域の方々の農地問題の対応を行ってまいりました。これまでに得た知識と経験を次期委員に引き継ぎ、また今後も委員として支援や対応を継続し、石垣市農業委員会の強化と地域農業の発展に寄与したいと考えております。 また、開発が活発な石垣市において、農地保全と地域発展のバランスを適切に判断し、持続可能な農業の振興に貢献したいと考えて応募いたします。
3	応募	瀬戸 健也	男	72	会社役員	現職農地利用最適化推進委員 農業経営経験なし	3年間、農地利用最適化推進委員として働かせて頂きました。農業に関することが全く分からず、とても躊躇しました。3年間の間で、農業の大変さ大切さがとても身に染みて分かるようになりました。手探りの中、どうにか業務をこなすことが出来たと思っています。これからは、農業後継者の育成、スマート農業の推進、観光と農業のマッチング等、数ある諸問題解決に努力したいと思っています。農業の発展が島の経済活性化に繋がるものと思っています。
4	応募	金城 啓介	男	40	農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数:7年 年間従事日数:300日 経営耕作地面積・主要作物:(畑5260㎡ 島らっきょう)	農地利用最適化推進委員を1期務め、石垣市の農業の現状や農地利用について考える場面が多々あるなか、遊休農地の解消、農地集約や担い手集積などの課題に取り組みながら、今後の石垣市の発展や地域農業の振興に尽くしたいと思い応募します。
5	応募	比嘉 由紀	女	53	畜産	畜産：一貫経営 営農年数：21年 年間従事日数：300日 経営耕作地面積：畑（牧草地15町歩） 現職農業委員	石垣市農業委員会18期を三年間努めさせて頂き、農業委員活動がいかに地域農業を守っていくうえで重要な活動であると痛感し農業委員としての使命を誠実に全うしたいと活動してきました。地域農業の持続的発展を図るための農地の利用調整（遊休地・耕作放棄地、優良農地保全、農地集積等）や担い手確保等様々な課題がありますが、18期の経験を活かし、地域農地を守り更なる発展を目指した農業委員活動に貢献します。 また、現在農業者年金の担当として、農業者年金の普及に取り組む農業従事者が老後も安心して暮らせるように働きます。
6	応募	山城 さよ子	女	62	農業	営農年数：15年目 年間従事日数：330日 耕作地面積：畑3ha ハウス0.2ha 主要作物：人参、リーフレタス、トマト （長ネギ、セロリ、熱帯果樹等） 現職農業委員	18期農業委員として3年活動しました。 農業委員の活動の幅の広さ、先輩委員達の地域（人）を知る情報等を見聞きして、もう少し勉強したいと思います。
7	応募	上原 勝	男	69	無職	現職農地利用最適化推進委員 野菜類20a	在職中は、土地改良基盤整備事業等に従事していました。石垣市の農業振興に微力ながら貢献したい。

一般応募者 24人

No.	推薦・応募	氏名	性別	年齢	職業	備考	応募の理由
8	応募	平良 辰男	男	74	農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：50年 年間従事日数：220日 経営耕作面積：サトウキビ450a	平久保地区の農業発展のため応募します。
9	応募	知念 保幸	男	41	農業	営農年数：2年 年間従事日数：200日 耕作地面積：7反（島らっきょう、紅芋、オクラ）	自分と同じ認定新規就農者を手助け出来るように知見を広めるため、今後石垣島の農業の担い手として学習するため応募します。
10	応募	栗盛 雅大	男	53	兼業農家	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：約13年 さとうきびを約4町歩生産しています	2期にわたり推進委員として従事させていただきました。その経験を更に生かし、まだ微力ではありますが農業委員となられる皆様と共に石垣市の農業発展に尽力したいと考える所存です。
11	応募	池西 美津子	女	76	農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数:24年 年間従事日数：180日 経営面積：10,275㎡ さとうきび	見守り活動や農地調査など今期同様ガンバリたい。これまでできなかった話し合い、新川地区の女性農業者と農業者年金などについて、全国農業新聞など話し合いたい。
12	応募	宮良 美奈子	女	63	農業	耕作面積：7,859㎡（草地） 2,780㎡（田） 作 目：和牛繁殖 稲作 年間従事日数：300日	農業に携わり26年余り、耕作放棄農地や遊休農地を身近にし、所有者と担い手を繋ぐお手伝いができればと思い応募いたしました。（本人 令和6年12月遊休農地を取得し、農地法第3条申請を自己にて申請。現在、草地とする為土地造成中）
13	応募	新城 正巳	男	56	会社員	現職農地利用最適化推進委員 農業年数:16年 年間従事日数:151日以上 主要作物: マンゴー 経営耕作地面積: 18a（マンゴーハウス7棟）	私はこれまで、石垣市農地利用最適化推進委員として2期6年にわたり活動し、農地の集積・集約化、遊休農地の解消、担い手の確保など、地域農業の課題解決に取り組んでまいりました。しかし、石垣市の農業が将来にわたり持続的に発展していくためには、まだ多くの課題が残されており、私自身もさらに学びながら地域に貢献していきたいとの思いから、引き続き応募いたします。 私は幼少期から、兼業農家であった父の右腕としてパイナップルやサトウキビ栽培に携わり、農業の厳しさや喜びを現場で学んできました。農業は私にとって単なる仕事ではなく、地域の暮らしを支え、次世代へ受け継ぐべき大切な財産です。現在も兼業農家としてマンゴー栽培に従事しており、生産者として農地を守り続ける中で、農地の維持管理の重要性や担い手不足、遊休農地の増加といった課題を身をもって実感しております。 また、本業では株式会社ユーグレナに勤務し、海外営業担当として世界各国を訪問しております。世界の農業現場や農地活用の事例に触れる中で、石垣市の農業には大きな可能性がある一方、農地利用や担い手育成の面ではまだ改善の余地があると感じています。海外で得た知見や経験を地域へ還元し、石垣市農業の発展に役立てたいと考えております。 これまで委員として活動する中で、多くの農業者の声に耳を傾け、現場の課題解決に努めてまいりました。しかし、まだまだ勉強不足であり、地域農業のためにできることがあると強く感じています。これまで培ってきた農業者としての経験、企業人としての経験、そして世界各国で得た知見を活かし、農地の有効利用、担い手への農地集積、遊休農地の解消及び次世代への農業継承に引き続き取り組んでまいります。
14	応募	大浜 将平	男	34	農業	営農年数：5年 耕作面積：葉たばこ300a 野菜10a 果実30a	農業を営む中で、遊休農地の増加や、担い手不足など、地域農業が抱えるさまざまな課題を身近に感じています。農業委員会の活動を通して、地域農業や制度についての知識を深め、自分自身の成長につなげたいと考え、応募しました。また、これまでの農業に携わってきた経験をいかしながら、地域の農業者の声に耳を傾け、農地の有効活用や、担い手の確保など、石垣市の農業の維持・発展にすこしでも貢献していきたいと考えております。
15	応募	長嶺 園子	女	67	会社員	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：36年 さとうきび 3.2ha	農業委員2期、推進委員1期やってきましたが、地域の皆さんのお役に立てれば19期もやってみたいと思います。

一般応募者 24人

No.	推薦・応募	氏名	性別	年齢	職業	備考	応募の理由
16	応募	宮城 智一	男	47	自営業/ 農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数:10年 年間従事日数:100日 経営耕作面積、主要作物 (田約34ha 水稻)	私は令和5年11月より石垣市農地利用最適化推進委員を務め、担当地区での現場活動に3年間従事してまいりました。農地所有者の皆様との対話や意向の把握、遊休農地の状況確認、農地の集積・集約化に向けた働きかけなど、現場での活動を通じて地域の農地を取り巻く課題と向き合っていました。 活動の中で、耕作放棄地の増加や担い手不足といった課題は、農地所有者お一人おひとりの事情に寄り添い、地道な対話を重ねながら解決していくほかないことを学びました。この3年間で培った経験を土台に、引き続き推進委員として職務を果たしたく応募いたします。 応募する中部地区は、私が顧問を務める農業生産法人の水田が所在し、日常的に営農活動を行っている地域です。地域の農地の状況や水利、圃場の条件を日々の営農を通じて把握しており、地に足のついた現場活動ができるものと考えております。 新規就農者の支援や農地中間管理機構との連携にも引き続き取り組み、地域の農地が次の世代へ健全に引き継がれるよう、精一杯努めてまいります。
17	応募	鎮波 紫	女	59	会社員	農業経営なし	私は農業者ではありませんが、農業生産法人において総務・経理業務を担当しており、農地に関する各種手続きや関係法令に触れる機会が多くあります。その業務を通じて、農地の有効活用や担い手への集積・集約化・遊休農地対策など、農地利用の最適化が地域農業の持続的な発展にとって重要であることを実感し、強い関心を持つようになりました。 農地利用最適化推進委員として、現場の声に耳を傾けながら、これまでの業務で培った知識や経験を活かし、関係者との連携を大切にしながら地域農業の発展に貢献したいと考えております。 また、委員として活動することで農業や農地制度への理解をさらに深め、地域に役立つ活動に積極的に取り組んでいきたいとの思いから応募いたしました。
18	応募	米盛 英彦	男	46	会社員 (兼業農家)	営農年数：18年 年間従事日数：200日 経営耕作地面積：70,000㎡ 主要作物：さとうきび	地域の中心となる農業者や、若い世代へ農地をうまく引き継ぎ、農業の規模拡大を支えるため応募します。
19	応募	宮良 綾子	女	59	農業・パート	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：20年 オクラ栽培、ヤギ畜産	平成28年4月、農業委員会法が改正され、第1期から農地利用最適化推進委員として活動してまいりました。今後とも地域の担い手への農地利用の集積・集約化等の推進に取り組んでいきたいと応募します。
20	応募	大城 善雄	男	73	農業	現職農地利用最適化推進委員 営業年数：43年 年間従事日数：約300日 耕作面積：約3町	土地改良区の多面的整備の作業で、崎枝・フーネ・名蔵地区の道路沿いをピーバーで除草している為、各地区のキビ畑・バイン畑・遊休農地等の状況を把握しており、農地の集積・集約や遊休農地解消の役にたてると思い応募致しました。よろしく願い致します。
21	応募	宇根 和孝	男	30	農業	営農年数：6年 年間従事日数：365日 経営耕作面積：牧草50,000㎡ パイナップル4,000㎡	私は、畜産業・農業を石垣市稚海地区で行っております。 農業を続ける中で、遊休農地の増加や担い手不足など、地域が抱える課題を身近に感じてきました。こうした課題の解決には現場を理解する農業者が行政へ繋ぎ、農地の有効活用を進めていくことが重要であると考え応募に至ります。
22	応募	眞榮城 玄鉄	男	45	農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：18年 年間従事日数：360日 耕作地：牧草80,000㎡	北部地区の委員として農地の有効活用や担い手への農地集積・集約化を進め、地域農業の発展に貢献したいと考え応募しました。
23	応募	東内原 航太	男	36	農業	現職農地利用最適化推進委員 営農年数：10年 年間従事日数：300日 オクラ：1,500㎡ ゴーヤー：1,000㎡ さとうきび：6,000㎡	私はこれまで、地域農業に関わる中で多くの方々に支えられながら農業を続けて参りました。 そして3年間推進委員として活動を行い、より農地の大切さを知ることが出来ました。 これからも携わっていくなかで、遊休農地の解消や一人でも多く参入できる環境作りや、コミュニケーションを取りながら石垣島の農業を盛り上げていけたらと思い応募いたします。
24	応募	佐久盛 繁	男	70	農業	現職農地利用最適化推進委員 農業従事日数：300日 耕作面積：約2町（草地）	委員の経験を活かし、地域の農業のために頑張っていきたいと応募します。